レッスン：SPA/NO.38

テーマ：現在のパーソナリティー

SPA38/KE8NOV3/DOC

私の姉妹・兄弟達、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性によって包まれています。

以前のレッスンで、絶対存在は一つではあるが複数性を有し、無数の聖なるモナドであるスピリット・セルフが絶対存在というワンネスのなかにある、と述べました。複数性のなかにあるモナド・セルフはまたワンネスの全体性をも現わしています。これは生の主な特質の一つであり、以前のレッスンで述べたようにこのことは創造の諸世界、実存の諸世界における魂のセルフ・エピグノシス、様々なアークエンジェルのオーダー、そしてまた人間の現在のパーソナリティーに関しても真実なのです。探究者のするべき努力とは出来る限り生の特質を表現すること、人間の真の本質つまりセルフ・エピグノシスをより多く現わすことです。

真剣なる探究者はパワーや能力を現わすことに興味を抱きません。ただ一つの興味はより高いレベルの気づきを現わすことであり、また現わされたものは何であれ同胞の人間達のためなのです。

過去に多くのレッスンにおいて、私たちは同胞の人間達、および自分自身を尊重すべきである、と述べました。なぜ無知のなかにいる現在のパーソナリティーを敬うのでしょうか？（＊無知のなかにある）それらの現れを尊重し、時には勇気づけるべきなのでしょうか？その現れがどうであれ、私たちは現在のパーソナリティーを尊重すべきです。なぜなら、何であれ人が実存の諸世界において表現するものは神の黙想内におけるものだからです。言い換えれば、何であれ人が現わすものは、その人が聖なる神の仕事に到達するためです。私たちは人間の無知ですら、過小評価すべきではありません。なぜなら、無知という段階を通過することによって人は本来期待されているところに到達できるからです。そして人間によってと言う時、これら現れの諸世界のなかで行われているものは全て神の黙想の結果だからです。そして何であれ神の黙想内にあるものは過小評価されるべきではないからです。私たちは無知の前に跪くできです。しかし、だからといって適切でない現れ、創造界の不動の法則とマッチしない現れ、さらには特定の市町村、特定の国々、その他にマッチしない現れを奨励しているわけではありません。

ですから、私たちはその人の現れがどうであろうとも全ての人を抱きしめるべきです。だからといってその人の現れ、表現を受け入れるという意味ではありません。しかし私たちは人を受け入れるべきであり、あらゆる現在のパーソナリティーを受け入れるべきです。なぜなら、生それ自体がすべての現在のパーソナリティーを生かしているからです。そして前のレッスンで述べたように、あらゆる人を生かしているスパークそのものは全ての人において同じであり、違いはありません。それは海のなかの一滴の水です。海は一つですが、その海は無数の一滴の水から成っているのです。

ですから、私たちにはみな共通したものがあります。私たちは生の海から来ており、そのことによって人間同士が引かれ合うのです。お互いを抱きしめようとするのです。なぜなら私たちは生それ自体によって結ばれているからです。現在のパーソナリティーは思考・行動の仕方以外の何ものでもありません。そして私たちはその現れのためにワークすべきです。なぜなら後に、自分自身のセルフについてワークを行った後において、その時私たちが表現するものは私たちの真のセルフ、生だからです。

さて、現在のパーソナリティーとしてある時に、生が完全に表現されているかと言えば、答えはノーです。素質的可能性のサイクルとして現在のパーソナリティーに与えられているものはすべて神のブレーシス（＊意思）および神の黙想によって与えられています。なぜなら、一般に現れの諸世界は人間のために築かれているからです。なぜなら、実際、人間を通じて、絶対存在によって表現されるべきものが表現されるからです。ですから、人間の肩には全てがかかっており、私たちはその役目を尊ぶできです。

Page2

さて、私たちは現在のパーソナリティーの諸体についてのワークを始めました。そして説明したように物質界にいる現在のパーソナリティーは三つの体を持っていますが、現れとしての現在のパーソナリティーには二つの体があります。ノエティカル体とサイキカル体です。私たちは自分の現れの仕方を変えるためにそれら二つの体とのワークをする必要があります。

あなた方には沢山の知識と沢山のエクササイズが与えられました。それによってその知識が実践されるためです。そしてエクササイズと言うとき、それらのエクササイズを行うことによって何らかのパワーや能力が得られるという意味ではありません。それらのエクササイズは現在のパーソナリティーが与えられた知識を実践する、現実のものとする上で助けになるものです。言い換えれば、不定形の諸体の形を再形成する助けになります。それらのエクササイズはそのようにして探究者に役立ちます。またあなた方には様々なシンボルが与えられました。そして以前に説明したようにそれらのシンボルは現在のパーソナリティーがある程度より高いセルフを表現する助けとなります。言い換えれば、それらは様々なサイコノエティカルなイニシエーションを示しています。

あなた方には三角形のシンボルが与えられており、そのシンボルは絶対英知、絶対善、絶対パワーとしての絶対存在の主な特質を示しています。非常に偉大なシンボルです。しかし、前に述べたように生それ自体はそれらのシンボルを全く必要としません。それらを必要とするのは現在のパーソナリティーです。なぜなら現在のパーソナリティーはその真の本質、生それ自体を表現していないからです。生それ自体は何をも必要としません。

私たちはまた四面ピラミッドのシンボルをも与えました。そしてこのシンボルは物質のバイブレーションのなかでの創造の四つのエレメントを示しています。以前のレッスンで全てはマインドでありマインドを通じてある、と述べました。ですから、マインドはそれによって全てが築かれる手段なのです…全て、あらゆる天体、そしてマインドの様々なバイブレーション。

いわゆるスーパーサブスタンスがあり、スーパーなマインドの海のなかで全てが遊泳しています。しかしまた、マインドが存在し、実存するためには生の海がそれを活性化する必要があります。またサブスタンスのバイブレーションもあります。さらにバイブレーションが下がると超物質と物質があります。そして物質界は物質で築かれています。マインドの低次のバイブレーションです。私たちはマインドについてワークする必要があり、これら物質のバイブレーションについてワークする必要があります。なぜなら私たちの肉体はマインドのこれらのバイブレーションから出来ているからであり、様々なアークエンジェルのオーダーによって築かれているからです。

それではこの肉体が私たちのために作られているのに、なぜ物質についてワークする必要があるのでしょうか？肉体を築いたのは現在のパーソナリティーではないのになぜそれについてワークする必要があるのでしょうか？なぜなら私たちの現れは肉体を通して表現されるからです。私たちは肉体および自分自身を表現するために使用している体を築き、維持しているそれらのアークエンジェルのオーダーに同調する必要があります。なぜならば思考・行動の仕方として、現在のパーソナリティーは肉体とは何の関係もないからです。

ですから、私たちは四つのエレメントを支配している様々なアークエンジェルのオーダーと同調するためにワークする必要があります。そして以前のレッスンで述べたように、それらのオーダーは三つですが、もう一つのアークエンジェルのオーダーにも同調する必要があり、それはウリエルのオーダーです。ミカエルは火のエレメントを受け持っており、ガブリエルは水のエレメントを受け持ち、ラファエルは空気/エーテルのエレメントを受け持っています。そしてウリエルは他の三つのアークエンジェルの仕事をコーディネートしています。そしてまたウリエルは現在のパーソナリティーを示していますが、どの現在のパーソナリティーでしょうか？現れとしての現在のパーソナリティーでしょうか？とんでもありません、ウリエルは現在のパーソナリティーを活性化する生の純粋なスパークを示しています。アーキタイプ、元型を意味しています。人間の純粋なフォームとしてのイデアは勿論生それ自体、この元型、このイデアです。それは無知のなかにいる現在のパーソナリティーを示しているのではありません。

それでは四面ピラミッドについて話しましょう。四面ピラミッドは地面の上に、地のエレメントの上に置かれています。地、土のエレメント；前にこのエレメントについて述べるのを忘れていたでしょうか？このエレメントを受け持っているものに同調するためのワークをするのでしょうか？答えはノーです。なぜなら、このエレメントは原因・結果の法則を受け持っていて人間の無知を助けているアークエンジェルのオーダーの監督下にあるからです。そのアークエンジェルのオーダーとはルシファーのオーダーです。しかし、勿論、エレメントとしての地はサミュエルの支配下にあり、サミェルはルシファーのエレメンタルです。私たちはそれらのエレメンタルに同調することはしません。そして四面ピラミッドはこのエレメントの上に立っています。しかし、現在のパーソナリティーはどこにいるのでしょうか？

Page3

前に、私たちは地のエレメントには同調しない、と言いましたね。しかし、実際にそうでしょうか？違います、なぜなら現在のパーソナリティーが無知のなかにいる間は、常にこのエレメントにフォーカスし、同調することしかしていないからです。現在のパーソナリティーはこのエレメントに囲まれています。無知のなかにいる間、現在のパーソナリティーはいつもそのエレメントにフォーカスしています。そして現在のパーソナリティーは四面ピラミッドの下にある部屋にいます。下に？地のなか、土のなか、部屋のなかです。現在のパーソナリティーの部屋があり、その部屋は人間の無知を示しています。しかし、非常に低いバイブレーションを放っている間、その無知が、時を通じて、時のなかで人間が一般に創ってきたものから現在のパーソナリティーを守っているのです。

実際、その部屋はあなた方を守ってくれています。なぜなら、その部屋は地面の中、土のなかにあるにしても、地のなかのエレメンタルが邪魔をする、干渉するのを防いでいるからです。いろいろなエレメンタルが部屋に侵入してその特定の現在のパーソナリティーに影響を及ぼすのを防いでいるからです。

以前のレッスンで、私たちは決してその部屋のドアーを開けようとしてはいけない、と述べましたね。残念なことに、ドアーを開くためのメソッドがあります；それらのメッソドはそうすることによって現在のパーソナリティーはパワーと能力を得ることができると主張しています。しかしそれは非常に危険なことです。なぜなら、現在のパーソナリティーがいまだ幼児期のような状態にいる間は、それらのパワー、能力をコントロールして自分自身を守ることができないからです。自分自身のセルフによっても守ることはできません。

ですから、その部屋のなかにいる間に行うべき唯一の努力とは、不定形の諸体の形を再形成することです。部屋のなかでは、何回も述べてきたようにエレブナが皆さんに提供してきた全てのシンボルを使います。最初のシンボルの一つで、とても重要なシンボルは五芒星です。そのシンボルをどのようにして自分の周囲に創るかは学びましたね。それによって常にそのシンボルのなかにいるようにします。

このシンボルはあなた方を守ってくれると言いましたが、何から守るのでしょうか？前に述べたように、人間の無知それ自体が現在のパーソナリティーを守ってくれます。しかし、適切でない、安全でないものを試してみようとする現在のパーソナリティーについてはどうでしょうか？そうです、そのようなパーソナリティーには守ってくれるものが必要です。しかし残念なことに、そのようなパーソナリティーは自分自身を適切にシールドすることをしません。適切でない何かを、言い換えれば現在のパーソナリティーにとって本当の意味で有益ではない何かを実践しはじめるパーソナリティー、そのようなパーソナリティーにはガイダンスと助けが必要です。

さて、あなたはどうでしょうか？なぜあなたに今この五芒星が与えられているのでしょうか？大きな疑問符があります、何故でしょうか？前に述べたように無知のなかにいる間、現在のパーソナリティーは上を向く代わりに下を向いています。現在のパーソナリティーに真の意味でマッチする感覚の代わりに五感を使ってセルフというものを表現しています。ですから五感と五つの超感覚があります。

私たちはそれを超感覚、スーパーセンスと呼びます。違いを示すためです。しかし、人間にとって適切な感覚とは五つの超感覚です。五感は人間を下向きにさせ、それは下向きの五芒星によって象徴されています。

そして覚えていると思いますが、創造の元型である生命の木ですら創造のセル（＊小部屋）であると述べました。無知にいる間は、この創造のセルにおいて本来ならばロゴス的本質は上向きになっているはずですが、下向きになっています。なぜなら、それは元型の影であり、人間が無知にある間はそれがモデルとなっています。また、無知にいる間は決して創造エーテルを上昇させようとさせるべきではない、と述べました。なぜなら、実際にはそれは上昇する代わりに下降し、無知に奉仕しているエレメンタルにエネルギーを与えるからです。

Page 4

そうです、その特定の現在のパーソナリティーを通じてパワーと能力が表現されるかもしれません。なぜなら、エレメンタルを使用することによってパワーと能力が現わされるからです。そのような現象を行っているのは現在のパーソナリティーではありません。その特定の現在のパーソナリティーに代わってエレメンタルがそのような現象を起こしています。しかし、何回も述べたように、それらのエレメンタルはそのお返しとして現在のパーソナリティーに何かを要求します。

ですから、下向きの五芒星があります。そして現在のパーソナリティーは四面ピラミッドの下にある部屋のなかで立っています；実際には現在のパーソナリティーはどこに立っているのでしょうか？そうです、部屋の真ん中です；しかし、どこに？無知にいる間は現在のパーソナリティーはたとえ上向きであると思っても実際には下向きであることを考えて下さい；今現在のパーソナリティーはどこに立っているのでしょうか？部屋の床の上に立っているのでしょうか？違います、そのパーソナリティーは部屋の天上に立っています。ロゴス的本質の頭が地球の真ん中の方に向いています。五芒星が下向きになっています。

このバイブレーションのなかで（＊物質界において）探求者が気づいているステートにあるときに五芒星を適切に身に纏っているというのは、それが理由です。それが主な、そして唯一の理由です。そして一度あなたがこの五芒星を創造したなら、その五芒星に包まれていると常に視覚化する必要があります。そして部屋のなかでワークを始めるときにはこの五芒星を身に纏う必要があります。言い換えれば、あなたは常に純白の五芒星のなかにいる必要があります。そうすることによって、あなたは天井ではなくて床に立つのです。なぜならば、その時あなたは、あなたのロゴス的本質を人間のイデアのロゴス的本質にマッチさせるからです。あなたを床に立たせるのにそれで十分であり、何であれ上向きと見なされるものは上向きになります。

さて、現在のパーソナリティーの部屋にいる間、もう一つ非常に重要なシンボルがありますが、それは小さな四面ピラミッドです。部屋のなかにある小さなピラミッドです。そのサイズはあなたの上にある大きなピラミッドと比べるととても小さなものです。勿論、全体の比率は同じですが、サイズは異なっていて、とても小さいものです。あなたは視覚化によってその小さなピラミッドを創造します。何のために？この小さな四面ピラミッドを創造する理由とは何でしょうか？その理由とは、実存の諸世界においてあなたの現在のパーソナリティーに付き添っているアークエンジェルたちに同調するためです。前に述べたように現在のパーソナリティーは一人のミカエル、一人のガブリエル、一人のラファエル、一人のウリエルに付き添われています。そしてまた守護大天使もいますが、その守護大天使に同調するために特別なワークを行う必要はありません。

一人のサミュエルもまた現在のパーソナリティーに付き添っていますが、サミュエルに同調しようとは決してしません。何故でしょうか？前に説明しましたね。私たちは常にサミェルにフォーカスし続け、彼は常に無知を助けています。

ですから、私たちの努力とはそれらのアークエンジェルに同調することであり、それによって現在のパーソナリティーは自分の現れのレベルを認識する助けとなります。現れとしての自分がどこに立っているかを理解できるよう、それらのアークエンジェルが助けてくれます。さらにまた、別の異なったオーダーのアークエンジェルが何を現在のパーソナリティーに提供しているのかを認識できるよう助けてくれます。

覚えていると思いますが、前にあなた方に与えたエクササイズがあります。四面ピラミッドにおいて現在のパーソナリティーを現すサイドに向けて、自分自身の前でフォーカスし、それはまたウリエルの監督のもとに行いました。あなたがそのサイドにフォーカスするとき、そこであなたは自分自身のイメージを見ます。それは鏡のようですが、平らな表面のある鏡ではなく、光の輝きのある鏡です。そしてあなたの前にあるイメージは三次元のイメージです。それはどのセルフのイメージなのでしょうか？

目の前のイメージを見て、それがあなた自身の同一体だと思うかもしれませんが、違います。あなたが見ているそのイメージは人間のフォーム、人間の純粋なフォーム、あなたの現在のパーソナリティーを活性化させる生のスパークを示しています。そしてそのイメージは全ての人にとって同じです。あなたはあなた自身の理解に応じてそのイメージの特質を変えており、現在のパーソナリティーがするべき努力とは自分の意識をそのイメージに転送することです。そうです、あなたはピラミッドの中央に立っており、あなたの前にはピラミッドの純白なサイドとイメージがあります。そして現在のパーソナリティーはそのイメージに意識を転送するよう努力します。

そうするためには、意識は不定形のサイコノエティカル体によって転送される必要があります。それは現在のパーソナリティーが眠りのステートにある時に生じているものと全く同じです。しかし、眠りのステートに入るために肉体を去ることはしません。いくらかの意識は肉体のなかに留まります。そして肉体にもまた意識があります。そしてそのイメージ、生の純粋なイメージ、人間のイメージと言うこともできますが、そのイメージが現在のパーソナリティーを観察することができるのです。純粋な人間のイメージであるそのポジションから現在のパーソナリティーとしての自分自身のセルフを観察することができます。

Page5

サイコノエティカル体の形は再形成されませんが、その純粋なイメージの結果として再形成される傾向があります。そしてその結果、現在のパーソナリティーがセルフを現わすときいかなるものにも影響を受けることがありません。現在のパーソナリティーはより高いレベルの正しい思考を表現し、自分自身のレベルの現れを観察することができます。そして真のワークが現在のパーソナリティーにおいてスタートします。それが、四面ピラミッド、小さなピラミッドのなかにいる間に目の前のそのイメージにフォーカスする理由です。勿論、そのイメージのなかに意識を転送することに成功するためには多くの努力が必要です；それは簡単にできることではありません。

さて、現在のパーソナリティーの部屋のなか、四面ピラミッド、その小さな四面ピラミッドのなかでの全てのワークには唯一の目的があります。現在のパーソナリティーが部屋を出て、“真の”、地面の外にある実際の四面ピラミッドのなかに立つためです；地のエレメントの上に立っている大きな四面ピラミッドです。

小さな四面ピラミッドのなかにいる間に、あなた方は他の多くのシンボルを使います。そしてそれぞれのシンボルは気づきの上昇、不定形の諸体の再形成のある段階を示しています。言い換えれば、様々なイニシエーションです。前にも述べたように、小さな四面ピラミッドは比率的には大きなピラミッドと同一です。そして、覚えているかもしれませんが、地球上に見られる様々なモミュメントまたは四面ピラミッドのように、四面ピラミッドの頂点の部分は失われており、現在のパーソナリティーがその頂点に立つことによって四面ピラミッドは完全な姿となります。

同じ事は部屋のなかの小さなピラミッドについても言えます。四面ピラミッドの頂点は部屋の外にあり、部屋の天上を突き抜けています。現在のパーソナリティーがその四面ピラミッドを完全なものにするよう期待されています。それを完成させるとしても、その四面ピラミッドはとても小さいものです。現在のパーソナリティーがその上に立っても、それは大きなピラミッドと同じではありません。完成させるためにその頂上に立つのは現在のパーソナリティーではなく、不定形な諸体です。小さな四面ピラミッドの頂点に立つのは肉体の大きさではなくて、現在のパーソナリティー、その形の真の現れが立ちます。そしてその時初めて現在のパーソナリティーはその部屋、無知の部屋を出るのです。つまり小さな四面ピラミッドの頂部に到達した現在のパーソナリティーは、地のなかの部屋から出て大きな四面ピラミッドのなかに立つ用意が出来たことを意味します。

ですから現在のパーソナリティーの部屋のなかでは多くのワーク、とても重要なワークがあります。しかし、本当のワークは大きな四面ピラミッドのなかでスタートします。そしてその時初めて探究者は知識のみならず、自分が行っていることが正しいという信念を抱くようになるのです。それは宝物のような信念です。なぜなら、いかなる泥棒もあなたからその信念を奪うことはできないからです。それは山をも動かすことのできる信念です。なぜなら、探究者は単なる言葉ではなく経験に基づいた知識を受け取るようになるからです。経験したものは何であれ実体のあるものとなり、それは信念、確信となります。

ですから、現在のパーソナリティーが部屋を出る準備ができる時、いわゆる意識的意識のセルフ・エピグノシスを現わし始め、意識的に生き始めるようになります。しかし、それは現在のパーソナリティーが地にフォーカスするのを止めるという意味ではありません。現在のパーソナリティーは依然として地にフォーカスしますが、もはや地によって取り囲まれることはありません。そしてその人は自分が地にフォーカスしているか否かを知るようになり、地にフォーカスするのを意識的に止めようとします。その人は真に価値あるものに価値を与えようとし、正しいことと間違っていることについての知識を単に理論上ではなくて（＊内側から）得るようになります。そして現在のパーソナリティーは、もはやあまり重要ではなくなった意味を背後に残して、真のワークを始めることになります。言い換えれば、二元性が消え始めます。さて現在のパーソナリティーの部屋にいる間にやるべき多くのワークがあります。

私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

エクササイズ：SPA38/NO.1

静かに座り、心を騒がせているものすべてを解き放ちます…真っ白な自分自身を見、自分の形の境界を感じます…今あなたはホワイトブルー（水色）の輝きのなかにいます…あなたはホワイトブルーの光のなかにいます…実際、あなたは自分がどこに立っているのかわかりません、自分がどこにいるのかわかりません、しかし現れの境界の内側にいると感じています…あなたは純白であり、このホワイトブルーの光の輝きのなかにいます…次の瞬間に何が起きるのか全くわからないステート（状態）にいると感じています、未来そして現在のことすらも不確実なステートにいるような感じです…あなたはどちらにフォーカスしているのかわかりません、どの方向にフォーカスすべきなのかわかりません…

今いるステートのなかで、自分の現在のパーソナリティーの安全性に関する恐れをいくらか感じています…それでは真っ白な五芒星のなかに入り、それによって守られます、今あなたは真っ白な五芒星のなかで守られています…この真っ白な五芒星のなかで守られているのを視覚化した瞬間、あなた自身に関する全てが変化しました…どの方向にフォーカスすべきかがわかり、自分自身について確信がもて、もはや恐れはありません、あなたは自分自身の両足で立っています…今自分がどこにいるのか、どの場所にいるのかがはっきりわかっています、自分の部屋、自分の無知の部屋にいるのがわかります…

　さて、あなたは小さな四面ピラミッドを築き始めます、目の前のサイドから始めます、それはウリエルが監督しているサイドです、ウリエルが代表しているサイドであり、あなたの現在のパーソナリティーを活性化している生のスパークとしてのあなたの現在のパーソナリティーです、今あなたの前に四面ピラミッドのこの純白のサイドが見えます…次のサイドはあなたの右側のサイドです、必ずしも90度回転する必要はありません、あなたがいろところに留まっていて構いません…そして今赤い輝き、赤い色の輝きを放っているミカエルが支配しているサイドを見ています…

　さて、あなた方のなかには困難を感じている人もいるので右に180度回転した方が良いでしょう、今あなたは前にあなたが面していたのとは真反対の方向を向いています…ガブリエルが支配しているピラミッドのサイドを見ており、そのサイドの光はホワイトブルーです…しかし、この部屋のなかのホワイトブルーよりも遙かに輝いていて、クリヤーです…三つのサイドを見ました、純白のサイド、赤いサイド、そしてホワイトブルーのサイドです…

このポジションから180度左に回転して、一番最初の純白のサイドに面しています…そのポジションからさらに左に90度回転します…その方向に面しているとき、この小さな四面ピラミッドの四番目のサイドを創造しているのがわかります…このサイドはラファエルが支配しているサイドであり、ウルトラバイオレットの輝きを放っています…それでは右に90度回転し、純白のサイドに面して立っています…自分自身を開いて、ミカエル、ガブリエル、ラファエル、そして最後にウリエルからの影響を受け入れます…これら四つのアークエンジェルからの導きと助けを受け入れます、彼らはあなたの真の現れのレベルを認識し始めるよう助けてくれます…自分の現れの本当のレベルを認識して、そのレベルに関するワークをスタートします…これら全てのアークエンジェル達に感謝します…

私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。終わります。

EREVNA SPA38/KE8NO3/DOC